



人間ロータリークラブ



Weekly Report

2013-2014 RI 会長：ロン D. バートン

RI 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎

会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三

例会日：木曜日 12：30～13：30

例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケット・ホール

Tel.04-2963-1111

会報委員長：関谷 永久 当番：宮崎 正文

事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101 号

Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788

Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 36 号 2805 回例会 2014 年 3 月 20 日(木)

<ビジター・ゲスト>

ロータリー財団国際親善学友 工藤 聖彦 様



先週末のマリンバコンサートはお陰様で成功いたしました。来週末にドイツに向けて再出発いたします。又、日本での演奏会の機会がありましたらご連絡させていただきます。ありがとうございます。

会長の時間

友野政彦会長

今年の初め「会長の時間」にて 17 世紀の初めにガリレオによって天体望遠鏡が作成されたことを申し上げました。その一方でミクロの世界を観察する顕微鏡も同じ 17 世紀の半ば過ぎに作られています。これを作ったのはアントニー・レーウエンフックと言う、オランダ・デルフトの人物です。レーウエンフックはガリレオのような高名な学者ではなく、織物商を本業とするアマチュア研究者でした。彼の作成した顕微鏡は現存していますが、直径 1mm 程度の球形のレンズを金属板の中央にはめ込んだ単眼式のもので、我々が知っている顕微鏡とはかなり形態が異なります。しかしその倍率は 300 倍にも達し、彼はこれを用いて細菌・藻類・原生動物など様々な微生物、動物の精子、魚類の毛細血管を血球が通る様子など数多くの新発見をしました。アマチュアである彼はこれらの新たな発見を発表する場を持ちませんでした。同郷の解剖学者ライネル・デ・グラーフによってロンドン王立協会を紹介され、以後は継続的に観察記録を送り続けました。

ところでレーウエンフックと同じ年つまり 1632 年、同じデルフトにとっても有名な人物が生まれています。画家のヨハネス・フェルメールです。デルフトは 1 キロメートル四方程度の小さな町であり、おそらく二人は知り合いだったのではないのでしょうか。フェルメールの絵画「地理学者」のモデルはレーウエンフックであるとの説もあ

ります。またフェルメールの死後、レーウエンフックが遺産管財人を務めた記録が残っています。王立協会にはレーウエンフックの何百ページにも及ぶ手稿と共に多くのスケッチが保管されていますが、それらは精緻で陰影に富んだ実に美しいものです。スケッチについてレーウエンフックは「自分で上手に描くことは出来ないので、熟達の画家に依頼しました」と記しています。現存するフェルメールの絵画は 37 点、素描やデッサンは全く残っていません。楽しい仮説を立てたくありません。更にレーウエンフックの記録を辿るとある時点からスケッチが平面的なつまらない物に変わっており、画家の交代が窺われます。ある時点とは 1675 年で、同年の暮れフェルメールは 43 歳の若さでその生涯を閉じています。

幹事報告

西山祐三幹事

1.4/4～15 春の全国交通安全運動開催・出陣式

●委員長報告

環境保全委員会

後藤賢治委員長

入間市のごみ減量化会議に行きまして。使用済家電は「都市鉱山」と呼ばれるほど多くの有用金属を含んでいますので、資源として再利用できます。拠点回収は市役所正面玄関及びリサイクルプラザ 1 階に回収ボックスを設置。又、「リサイクルの日」には専用回収コンテナを設置しますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

加藤国夫エレクト

3 月 16 日「坂本年度 2014 年会長エレクト研修セミナー」に行きまして。当日は緊張のあまり家を早めに出て、9 時前には会場駐車場に着いてしまい、長い一日セミナーとなりました。中井眞一郎ガバナー欠席の中、10 時点鐘、松本光司第 1 グループガバナー補佐の、開会の挨拶で研修セミナーの開始となったわけですが、入間ク

ラブは第3グループですので、どちら側から設定しても演壇のほぼ正面に設えて。いささか緊張の中にも確かな手ごたえを体を感じながら、坂本元彦ガバナーエレクトからの、次年度R Iテーマ「ロータリーに輝きを」、地区活動方針「学んで行動しよう」でした、どちらもシンプルではありますが、奥行きを感じさせるテーマです。「入りて学び出でて奉仕せよ」、入間クラブも共に学び友情と寛容の精神を培いながらの一年になるよう頑張っていきたいと思っておりますのでご協力宜しくお願いいたします。

ガバナー訪問は7月24日、補佐訪問7月17日です。「ガバナー補佐」は沼崎正徳氏です。

< 出席報告 > 木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	30名	75.0%	80.0%

事前欠席連絡 2名

4/30 メーキャップに多くの方の参加をお願いします。後、2,3回メーキャップを予定しています。

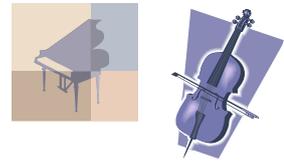
< ニコニコBOX > 滝沢文夫 S A A

加藤国夫君～宮寺会員、晝間会員の卓話楽しみにしています。工藤君頑張って。後藤健君～6年間皆勤で娘が小学校を卒業しました。齋藤栄作君～娘が高校三年間皆勤賞で卒業できました。吉永章子君～工藤さん間もなく独訪・気を付けて。忽滑谷明君、吉沢誠十君、宮崎正文君～早退します。

本日¥7,000 累計¥729,000

■ 回覧、配布物

- ① 米山梅吉記念館 館報 2014年 Vol. 23
- ② ジトさんから卒業のご挨拶
- ③ 入間市教員委員会研修会参加の御礼
- ④ ネパール奨学里親申込み確認書
- ⑤ 4/15 と入間南RCとの合同例会出欠表
- ⑥ 4/30 メーキャップへのお誘い(飯能RCへ)
- ⑦ 3/27 アミーゴ移動例会出欠表(ピアノとチェロ)
- ⑧ 他クラブ週報
- ⑨ 週報 35号



■ ■ ■ 会 員 卓 話(趣味の話) ■ ■ ■

「ゴルフを通しての人生観」 宮寺成人会員



ゴルフと言われて最初に思い出すのは「金田武明のグリーンサロン」という日経新聞のコラムです。1970年から1987年まで週1回連載されておりました。私は1980年前後に読んでいたと

思います。アメリカのプロゴルファーの競技での技術これに影響する精神状態、人生観を書かれており、これに影響されました。ゴルフの経験がないものがそのコラムに影響されましたのは、税理士試験の最中で試験を受け始めてから6年ほど経過し、このまま継続すれば合格するのかわからないのか迷っていたからでした。もっとも難関である税法を選択したのは間違いなかったのですが、辞めたくなくなるとは想定していませんでした。このコラムに助けられ税理士試験を継続しました。これがゴルフとの最初の出会いでした。

それから30年後税理士会の支部長になってからはコンペに参加する機会が多くコンペだらけで大変な思いをしましたので、それから練習に行き始め、ゴルフスクールに通い自宅近くのジムで練習に励んでいます。この頃は、もっぱら家族4人とは三郷ゴルフで昼食付プレイをし、家内とは午後2時から近くの西武園ゴルフで気楽に楽しんでいます。レベルを上げて皆様とプレイできるようになればと思います。



「趣味は音楽大好き」

晝間和弘会員



入会しての5年間を振り返りますとRCに入っていなかったら出来ない経験が沢山あり、入会するまではハナから時間が作れないと思ってましたが、「なんとかなるものだなあ!」と感じています。しかも居心地がとてもよいし、改めて入会して良

かったと思っています。

この5年間で2度と経験出来ない役を2回経験しました。入間RC50周年記念式典にて何とソングリーダーという大役を仰せつかりとても光栄にも壇上にあがり指揮を執りました。とても緊張しましたが良い経験になりました。二つ目は昨年の第2570地区インターシティミーティングの懇親会での司会です。平岡ガバナー補佐主催、水村実行委員長のもと懇親会での総合司会を努めました。話すことが苦手な私ですが何とか大役を果たせ自分の中では苦手を克服する一歩になったと少しだけ自信に繋がりました。

こんな若造が生意気かもしれませんが入間RCはたくさんの仲間とともに居心地のよい場所なので、これからも無理しないで一生懸命に楽しくRCライフを過ごしたいと思います。

趣味ですが音楽全般です。ミュージカルからクラシック、ロックまで幅広く音楽は大好きです。最後に「入り来る者にやすらぎを、去り行く者に幸せを!」を常に思い、これからも宜しく願い致します。

会報委員会 (関谷・平岡・忽滑谷)